



# 市長と

# 車座トーク

## 第51回 金江学区（概要）



開催日時 2018年（平成30年）1月16日（火）

19:30～20:30

開催場所 金江公民館

参加者数 9人

次第 市長のあいさつ

意見交換

地域からまとめのあいさつ



### ＜車座トークの主なご意見＞

- ・南海トラフ地震などの発生も考えられる状況下において、福山防災リーダー連絡協議会の情報は自主防災組織や地域団体との連携のためにも必要だと思われる。そのため、防災リーダーがいない学区にも協議会の情報を提供していただくか、協議会に参加できるように配慮を願いたい。
- ・消防団員は火災や災害時に活動を行っている。金江町内では高齢化や若者の地元離れ等の問題により、空き家や耕作放棄地が目立ち始めた。それにより、今後火災などの危険な要因になりかねないと危惧している。この点について、今後の対策や、良いアイデアがあればお聞かせいただきたい。
- ・赤坂バイパス早戸ランプ交差点から市道金江瀬戸幹線（農免道路）に入る時、待機車両が多く、安全確認がしづらい。そのため早戸ランプ交差点信号機等を利用して、国道側から農免道路に入りやすくないか。また、金江町方面から早戸ランプに入る場合、トーヨド団地入り口信号の少し手前からバイパスをくぐって北口に出る道に誘導すれば、交通の改善になるのではないか。
- ・民生児童委員は、福山市では現在6人の欠員状態で、全国的にも委員の高齢化・慢性的な人手不足状

態である。また、会議、研修会、家庭訪問、報告書の作成など、余りの仕事の多さに戸惑っている委員もいる。今後は、地域住民が抱える課題が複雑化、多様化し、住民の身近な相談相手として役割がますます重要になってくると思われる。選任の年齢基準は少し緩和されたが、引き続き人材確保が重要な課題だと思う。

- ・2025年には団塊の世代が後期高齢者になり、加齢とともに、身体や心の健康面、経済面で不安な人が増加することが予想される。こういった状況下で、安心安全に生活していくには、地域としてどのような支援をしていけばいいのか。また、福山市における施設入所と在宅介護についての考えを聞かせていただきたい。
- ・乳幼児医療について、福山市では0歳から6歳までが対象になっている。医療費助成を、中学校3年生まで対象としている市もある。医療費に対する保護者の負担軽減のため対象年齢をあげて欲しい。
- ・家事、育児、介護等女性の役割は増えている。その中で、子どもを安心して育てる環境づくりのために、経済面でのサポートや子育て環境の整備を進めて欲しい。また、保育所保育料の減額についても、兄弟数等により検討していただけないか。併せて福山市が補助金を出して企業内保育を充実させるような施策なども考えていただけないか。
- ・金江学区では、子どもたちが地域活動に積極的に参加して、地域に貢献している。精華中学校の生徒は金江町文化祭で折り紙教室、受付、運搬など様々な役割を担って関わり、また、金江小学校の児童も、文化祭で琴を披露したり、学校で育てた野菜などを使った料理を地域の方々に振る舞う収穫祭を行ったりしたことにより、両校とも「福山学校元気大賞」に選ばれた。今後も私たち大人も楽しんで、まちづくりに参加していきたいと思う。
- ・昔と違い猛暑の日が多く、家ではクーラーに慣れている子どもばかりで、授業に集中できない。そのため小学校の教室に冷房を設置して欲しい。
- ・競馬場跡地の活用計画で、総合屋内運動場を建設する予定と聞いている。その概要や予算について教えていただきたい。
- ・西部地域では松永地区体育会を結成し、松永一周駅伝、バレーボール大会、卓球大会等の行事を行っている。しかし、小・中学校以外に屋内競技場がないため、尾道市や、県の施設を利用している。今後の西部地域の屋内競技場建設計画について教えていただきたい。

#### <市長のまとめ>

- ・防災リーダーは全学区に複数名いて欲しい。防災リーダーが自主防災組織の中核になり、地域の安全をリードするよう期待している。防災大学を受講すれば、防災リーダーの資格が得られるので、地域の中で何人かの方が受講されれば、地域の防災力が高まっていき、防災リーダー連絡協議会の情報も地域に届きやすくなる。防災リーダーがいない学区については、リーダーが誕生するまでの情報提供のあり方について、もう一度確認し、どの学区でも防災に対する情報が共有できるよう取り組んでいく。
- ・福山市の消防団は全国有数の組織で福山の誇りである。地域で消防団活動をぜひ盛り上げて欲しい。空き家については、まだ所有者が分かる段階で、管理ができるような人間関係を地域で維持して欲しい。我々の仕事は、所有者が分からなくなっていく一歩手前でなんとか立ち止まって、何かある時に所有者に相談ができるようパイプを持ちつづけ、管理しやすい状況に維持していく事だ。地域でも空

き家の状況管理をお願いしたい。耕作放棄地については、地元が意識をしていただきながら、地域でも除草のための労力の提供をお願いしたい。農業委員会が窓口になっているので、管理上心配な耕作放棄地があれば、教えて欲しい。農業関係部署で対応する。現状をどれだけ地域が把握できているかということで大きく防災力が変わってくる。よろしくをお願いしたい。

- 赤坂バイパス早戸ランプの場所は赤坂学区になる。赤坂学区の意見も聞きながら、一緒になって対応する必要がある。対応する先は西警察署であり、学区同士での相談を行政が橋渡しをする。赤坂学区と行政と三者で問題意識を共有するような取組にしていきたい。
- 日頃から、一人暮らしの高齢者の見守りという、今日的な課題に関わっていただき、感謝している。金江、藤江学区は、16人の民生委員が活動していただいている。この民生委員の後継者不足が課題になっているが、これは民生委員だけではなく、今地域を支える団体すべてがそうである。そういう中でどうやって地域の力を維持してくかということは、福山だけではない全国的な課題である。これからの時代にふさわしい、地域組織のあり方をあらためて勉強する必要がある。新年度の予算では全国の有識者を集めて勉強会をすることなどを考えている。また、地域の役員にも議論を聞いていただきたい。
- これまでは人口が増えていく中で、組織をたくさん作ってきた。女性会の活動、防災力を高める活動、福祉を高める活動、国の組織だが民生委員など。しかし、そんなに分ける必要がないという考え方もある。桜丘学区の高美台は三世代交流に取り組み、自治会加入率100%である。そのような事例も含めながら考えてみたいと思う。
- 介護の問題は大きな課題であるが、高齢者が健康なうちは、健康寿命を延ばすための取組をしていきたい。お互いに支えあうというコミュニケーションの場、サークル等をいかに楽しく負担感なく実施できるかを考えていく。いずれ足腰が不自由になると在宅か施設かということになるが、福山市内を19のブロックに分けて、包括支援というやり方で、在宅でも不安なくサービスを提供してもらえそうな取組が、今少しずつ出来ていっている。「一人家に残していたのでは心配だ」という人は施設、医療機関の利用。今はまだ十分にそれが確立出来ていないから、不安が先に立っているが、大きな方向性として、そういうことを考えていきたい。
- 福山はこれまで、個別の家庭に補助金を給付するというやり方ではなく、制度の充実や、施設の建設という取組をしてきた。その結果、20年間、保育所待機児童数はゼロである。しかし、そういうことだけで、子育て世代の負担増に対する行政の対応としては、説明しきれない状況なのかもしれない。昨年は、まず中学校給食を2020年9月までに完全実施することを決めた。また、放課後児童クラブは、今小学校3年生までだが、2019年度までに6年生まで実施すると約束した。しかし、今どうしてもお母さんたちの関心は、医療費の助成や保育料の無償化というところに行く。保育料については、今、国が無償化に向けた取組を進めているので、それを待ってみたいと思う。
- 乳幼児医療の助成の拡大については、昨年、県と市が協力し、家庭の子育ての負担がどの程度かアンケート調査をした。分析した結果をふまえて、あるべき対策を講じていきたい。今後、検討していくので、もう少し時間をいただきたい。
- 企業内保育所については、国が良い制度をつくってくれている。難しい法律の縛りのない企業内保育所がスタートしている。制度をゆるくしているから、そういう意味で作りやすい企業内保育所が増えてくると思う。今後も、子育てに優しい都市をつくっていきたい。

- ・福山は地域に対する子どもたちの関わり方，貢献の仕方が本当に根強く残っており，非常に心強いことである。金江学区の取組を聞き，そう感じた。他にも，川口東学区では，子どもたちが自治会運営の代わりをし，学区行事の計画をたてている。これらは福山市の誇りである。だからもっと子どもを大切にしなければならない。今後も家庭の子育ての不安をできるだけ解消したいと思う。
- ・子どもの減少によりこれから税収が減っていく。この10年間で税収はすでに約90億円以上減っており，これからもさらに減っていくと思われる。しかし，介護や医療，福祉等の高齢化に伴う費用は同じ10年間で約230億円増えている。今後も高齢化は進み，今度はみんなで我慢し合う社会になってくる。そういうなかで，市民から預かった数少ない税金を，どこに使っていくのかという議論をさせてもらっている。
- ・高度成長期につくったスポーツ施設等が老朽化してきている。建て替え等については，税金だけでなく，国の補助金等を利用して，市民の負担を少なくしようとしている。そういうやりくりをしていく時代に入っていくということを，これからの時代に生きる我々は共有していきたい。
- ・福山の小・中学校のエアコン整備率は3.6%，全国では32.8%。これをどう考えるかいろいろ議論はある。医療費，保育料，社会保障，エアコン，耐震化。何を施策として優先するか議論しながらがんばっていくので福山市にぜひご協力いただきたい。できることは地域の皆さんでやりくりしながら，今までのように，いい地域を維持して欲しい。
- ・浜松市ではPFIという事業手法で，少しでも市民から預かった税金の支出を少なくし，エアコン設置が進むような手法を実施しようとしている。検討してやっていきたい。
- ・今度できる総合体育館は3000席で，予算は約100億円。周辺の整備を含めるとあと2～30億円かかる。完成後は，競技によっては国際大会も誘致できる。レベルの高いスポーツもできるし，市民がみんなで楽しみたいという場所にもしていきたい。松永地区合同運動会を，ぜひ新総合体育館でやって欲しい。

### <地域からのあいさつ>

今日は皆様大変お忙しい中，市長と車座トークに参加いただきまして，本当にありがとうございました。車座トークは，普段，市長と会話をかわすことがない我々が，直接意見交換出来る貴重な場です。本日は，金江学区10団体の代表者が忌憚のない意見を出させていただき，そのあと非常に丁寧なご回答をいただきました。すぐ対応できるものと，時間を要するものがあると思いますが，ご検討をよろしくお願い致します。金江学区としては団体間の協力関係を深め，地域力を高めていきたいと思っています。本日はありがとうございました。